

6. まがいぶつ 摩崖仏

■ 指定日

昭和54年12月4日

■ 種別

有形文化財 彫刻

■ 年代

室町時代

■ 所在地

朝来市生野町口銀谷

■ 所有者

姫宮神社



■ 内容

かつて愛宕山の山腹にあった愛宕社の参道途中の岩壁に彫刻された、大日如来像である。大日如来像は直径約70cmの円形のくぼみによって、岩壁と区別されている。

彫刻の年代及び作者は不詳ではあるが、室町時代末期のものと推定され、朝来市においては貴重な摩崖仏である。